

## 理工学基礎A実験注意事項

### 1. 理工学基礎実験の構成

- 1) 実験は、A実験（工学系－714室）  
B実験（物理系－724室）  
C実験（化学系－734室）に分かれている。
- 2) A・B・C実験 それぞれ4テーマずつ合計12テーマ（12週）で構成されている。

### 2. 実験指導上の説明

- 1) 翌週の実験テーマがなんであるか、「班分け表」で確かめ、予習を必ずすること。
- 2) 説明前の実験装置に絶対に手を触れぬこと。  
（注）感電や、その他の事故の原因になる。
- 3) レポート用紙・グラフ用紙はA4を使用すること。
- 4) グラフ用紙（両対数・片対数・方眼紙 mm/mm）・電卓などは、実験に必要なため必ず各自が持参すること。
- 5) 金属の切削加工実験は、サンダル・ハイヒールでの入室を禁止する。  
（作業服、保護メガネは、実験室で用意する。）

### 3. レポート提出について

- 1) 提出日は、翌週の実験日とする。
- 2) 提出時間は以下のようにする。  
午前グループは 午前9時まで  
午後グループは 午後1時まで
- 3) レポートは、準備室カウンター下の各テーマ別ボックスへ提出する。  
提出後に受理されたレポートについては、受領証を渡す。学生は受領証を必ず受け取り保管しておくこと。
- 4) 金属の切削加工のレポートについては、実験日に担当者に提出する。
- 5) 遅れレポートは、減点の対象になる。指定された日までに提出するよう十分注意すること。  
（注）全レポートを提出しても評価が低く、さらに重なる遅延により減点され、総点が合格点に達しない場合がまれながらある。注意すること。
- 6) 再レポートは、減点の対象にならない。むしろ、より良いレポートになるように指導している。

### 4. 欠席・遅刻について

- 1) 病気通院・忌引きなどで「欠席」する場合は、A実験に電話連絡する。  
後日、欠席届に証明書を添付して、速やかに提出すること。欠席届は各実験室にある。
- 2) 病気入院等で、長期欠席（2週以上）する場合は、必ず実験室に連絡すること。  
（所属学科の学習指導の先生に並行し連絡することを薦める）  
**045-566-1048 A実験**
- 3) 補充実験を許可された学生は原則として13回目に行うものとする。但し、一人ではできない実験もあるので、授業に支障のない範囲で、他の実験日に補充実験を受けることができる。
- 4) 遅刻は減点の対象となる。30分以上の遅刻は欠席扱いとする。

### 4. 「火災」・「地震」時の対応について

- 1) 実験日初日に必ず非常口・避難路を確認すること。
- 2) 避難する際は担当者の指示に従い、避難場所の「陸上競技場」に避難し、次の指示があるまで待機すること。

以上